

対象年度	令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	地域未来塾運営事業					予算事業名	地域未来塾運営事業費
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			10	05	03	2201	政策経費
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ②地域教育体制の充実 その他					事業の区分	主要事業
						担当課係等	生涯学習課
							生涯学習係
事業期間	継続 (平成29年度～令和 2年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生の学習意欲を高め、学力の向上を図り、貧困の連鎖を断ち切る。また、地域住民に対しては、学習支援活動を通して、地域の教育力の向上と、地域の活性化を図る。				子供の貧困対策に関する大綱(平成26年8月29日閣議決定)に地域による学習支援が示された。小山市「学びの教室」月2回土曜日の午後に公民館等3カ所で開催。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
地域住民(教員希望の大学生、元教員、青少年健全育成団体等)の協力を得て、学習が遅れがちな中学生対象とした学習支援を行う。月2回、土曜日13:00～17:00の4時間を基本とする。自習中心。各中学校区ごとに1教室開設。1教室あたり、学習支援員1名、教育活動サポーター2名を配置する。各教室の連絡調整役として地域コーディネーター1名を配置する。運営委員会の設置。委員12名。年3回開催。事業計画、安全管理、広報、ボランティア等人材確保、事業の検証・評価を行う。				市内中学生 地域住民			
				【事業をとりまく環境の変化】			
				近年、子供を取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子供たちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要がある。			
【令和 2年度 事業内容】			【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】	
<ul style="list-style-type: none"> 中学生の学力の向上支援 中学生の学習習慣定着の推進 学習支援員による活動の見守り 教育活動サポーターによる学習支援 			<ul style="list-style-type: none"> 中学生の学力の向上支援 中学生の学習習慣定着の推進 学習支援員による活動の見守り 教育活動サポーターによる学習支援 			<ul style="list-style-type: none"> 中学生の学力の向上支援 中学生の学習習慣定着の推進 学習支援員による活動の見守り 教育活動サポーターによる学習支援 	

■事業費

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	374	877			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	250	561			
歳入計(千円)		624	1,438			
歳 出 内 訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	527	1,274			
	11 需用費	13	18			
	12 役務費	84	146			
歳出計(千円)(A)		624	1,438			
伸び率(%)			130.44			
備考	総合計画116ページ 予算書174ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動指標	開催日数	日	目標	18.00	18.00	18.00
			実績	18.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	参加生徒数	人	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	76.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域在住の学習支援員が見守る中、学習習慣が身についた生徒が定期的に活動できている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	学習支援員や教育活動サポーターが見守る中で、落ち着いた学習環境が提供されている。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	会場の検討及びサポーターの人材確保が課題となっている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	教育活動サポーターは、教員志望の学生であるため、生徒と関わることで、相互に効果がある。その点で、ボランティアで活動している意識もあるため、現在のコストは妥当といえる。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	家からの距離により、交通手段の違いがある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	運営委員会を開催し、反省点を生かした活動を展開していく。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	学習支援員と教育活動サポーター、また、事務局が情報交換したり連携をとったりすることで、新たな取組も出されている。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

学習支援員・教育活動サポーターの人材確保が困難な状況にある。
また、現在各中学校で対応している会場であるが、施設の対策が検討課題となっている。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

開催日時や運営体制について、生徒がより利用しやすいよう事業の検証をしていく。

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>生徒が利用しやすい実施方法やサポーター確保の検討を実施し、学習習慣の定着、学力向上につながるよう推進していく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>